

クマに注意!

〜ツキノワグマによる人身被害を防ぐために〜



令和7年11月 区内で撮影

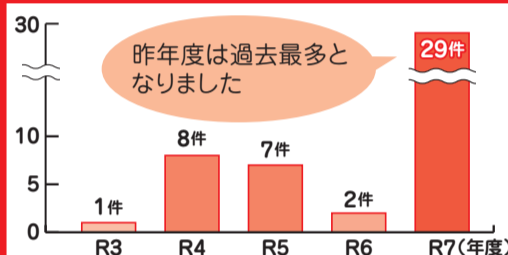
令和7年度は、県内のクマ出没件数が過去最多となりました。さらに、例年は活動が落ち着く冬期間にも目撃情報が寄せられるなど、年間を通して警戒が必要な状況が続いています。

特に近年、住宅のすぐ近くで目撃されるケースも増えており、人とクマとの生活エリアの境界があいまいになってきています。

今号では、クマの目撃情報が寄せられた際に、区民の皆さんへどのように情報が伝達されるのかを紹介するとともに、クマに遭遇しないために心掛けたい行動についてお伝えします。

問い合わせ 区民生活課生活環境係(☎25-5678)

秋葉区のクマ出没情報件数

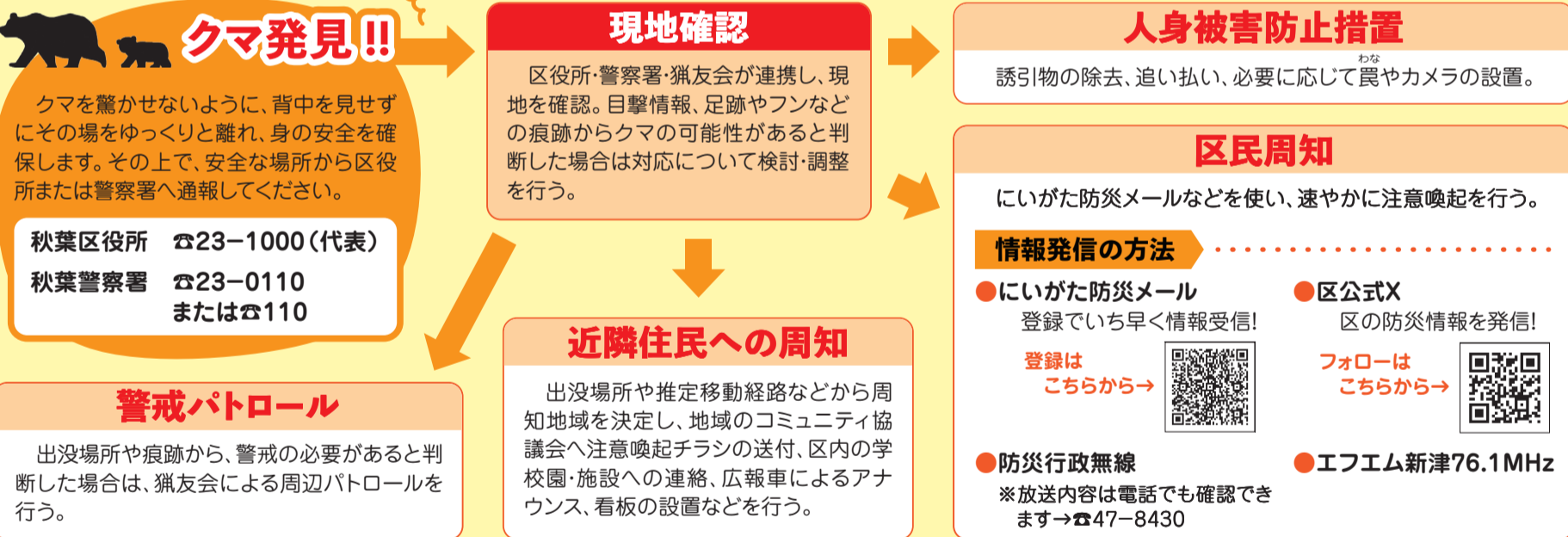


最新の出没情報を確認!



クマの目撃情報が地域の皆さんに届くまで

秋葉区では、クマが目撃されたり痕跡が確認された場合、警察、消防、猟友会と連携し、状況に応じた対応を実施するとともに、区民の皆さんへ速やかな情報提供を行っています。



クマと出会わないためにできること

クマとの事故を防ぐには「出会わない」ことが最も大切です。出会わないためにできることを紹介します。

山間部周辺の住宅では

- **ごみや果樹は適切に処分する**
クマの餌となる農作物や果樹などは放置せず、適切に処分しましょう。
- **電気柵の設置が効果的**
一度農作物の味を覚えてしまうと繰り返しやってきます。畑や家庭菜園などに電気柵や物理柵を設置することで、クマを作物に近づけないようにしましょう。
- **草刈りをする**
クマが身を隠せる背の高い草や茂みを作らないように、草刈りを行いましょう。

ハイキングなど野山へ行く時は

- **音を出す**
ラジオや鈴など音の出るものを携行し、クマに人の存在を知らせましょう。
- **単独行動を避ける**
人とクマが互いの存在を気付きやすくなります。もしものときも助けを呼ぶなど、命を失うリスクを下げることができます。
- **早朝や夕方に注意**
クマ(夜行性)の活動が活発になる早朝や夕方の入山は避けましょう。

こちらもチェック!

クマの出没情報を配信 / にいがたポリスをご活用ください



ダウンロードはこちらから↓



問い合わせ 秋葉警察署(☎23-0110)

新潟県警公式アプリ

クマなどの野生動物の出没情報を配信中。出没場所を地図で詳しく確認できます。その他、県内の犯罪発生情報や防犯情報の配信、防犯ブザー機能や痴漢対策機能など、役立つ機能を搭載しています。